

受診の流れ

診断

紹介元医療機関からの紹介状とジェンダー委員会¹の身体的治療の承認証²をご用意いただき、患者様ご自身で当院にご連絡いただいて受診予約をお取りいただきます。

※¹ ジェンダー委員会とは2人以上の精神科医と泌尿器科医と婦人科医などで構成される医療チームです。

※² ジェンダー委員会の承認証を初診時にお持ちいただけない場合は、入院日決定までにご用意いただけますようお願いいたします。ご不明なら当院から紹介いたします。

行徳総合病院 代表番号
047-395-1151

行徳総合病院 受診

婦人科では原則、金曜日午後には坂本医師が担当します。男性医師を希望される場合は、水曜日または金曜日午後には田口医師が担当します。形成外科では月曜日の午後、水・木曜日の午前中に櫻井医師が担当いたします。

入院日決定

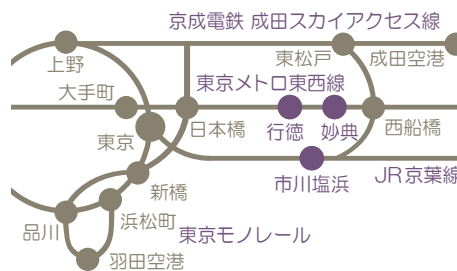
入院についての注意点、費用、入院日数等の説明を行います。

手術

※費用はホームページをご覧ください。

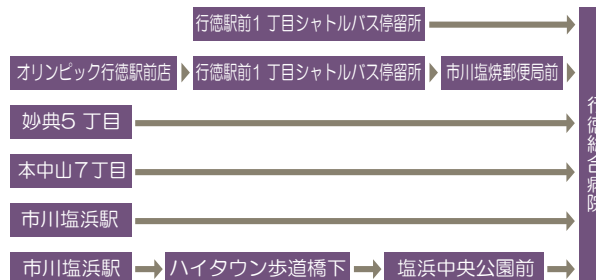


電車をご利用の方



行徳駅方面・妙典駅方面、市川塩浜駅方面より無料送迎バスを運行しています。運行ルートは下記をご参照ください。

行徳総合病院 無料シャトルバスをご利用の方



地下鉄東西線行徳駅から徒歩5分の旧病院跡地、妙典駅から徒歩3分イオン市川妙典店横、原木中山駅南口ロータリー、京葉線市川塩浜駅北口から運行しています。バスの時刻表と発着場所はホームページをご覧ください。

お車をご利用の方

駐車場完備：150台収容

最初の1時間は無料、入庫から最初の5時間まで300円以降30分毎100円

病院名で検索されますと、移転前の病院所在地が表示される場合がございます。また、千葉県市川市本行徳 5525-2 では正確な位置情報が取得できないことがございますので、その際は『千葉県市川市加藤新田 202-21』で再検索をお願いいたします。

ご予約につきましてはお電話にて



IMS(イムス)グループ 医療法人財団 明理会

行徳総合病院

千葉県市川市本行徳 5525 番地 2

☎ 047-395-1151 (病院代表)



行徳総合病院

GYOTOKU GENERAL HOSPITAL

GID 学会認定施設

GID 外来のご案内

当院では、形成外科と婦人科にて GID に対する性別適合手術を行なっています。
(施行出来る手術が増えました)
FTM: (腹腔鏡下子宮・卵巣摘出術、乳房切除術、陰茎形成術)
MTF: (外陰部女性化手術・造膣術)

行徳総合病院 GID 診療のご案内

当院で受けられた手術に関する意見書は当院で発行いたしますが、戸籍の性別変更に関する事は、かかりつけの精神科でご相談いただくようお願いしております。
手術後は、問題なく経過していれば数回の定期検診で終診になります。当院では基本的にホルモン療法の処方を行っていませんので、ホルモン療法に関してはかかりつけの精神科で処方をご相談していただくようにご案内しております。

行徳総合病院 GID 診療の特徴

●GID 学会認定施設

当院は認定施設のため、ホルモン未治療の場合は、健康保険で乳房切除術ができます。

●入院で全身管理

病棟看護師による24時間管理体制のケアのもと、周術期管理を行います。

手術は全例、麻酔科専門医による麻酔で行います。

●他科との連携が可能

乳房（形成外科）と子宮・卵巣（婦人科）の手術をご希望される方には同日に行えるようにしています。

必要時には泌尿器科・消化器外科・内科などのバックアップ体制があります。

形成外科



櫻井 透（さくらい とおる）

平成22年 福岡大学卒

日本形成外科学会形成外科専門医
日本乳房オンコプラステックサージャリー学会
乳房再建用エキスパンダー/インプラント責任医師
再建・マイクロサージャリー分野指導医
GID学会認定医

形成外科 櫻井は岡山大学形成外科・ジェンダーセンターで2年間研修をしており、乳房切除術の執刀は約70例、その他のGID関連の手術も多数経験しています。

コメント

当院形成外科ではFTMに対する乳房切除術・陰茎形成術やMTFに対する外陰部女性化手術・造陰術を行っています。当事者の方々にとって手術治療は本当の自分に近づく希望の光であると思います。しかし同時に体にメスを入れるという不安が必ずあると思います。当院では、外科的な技術面はもちろんのこと、麻酔科専門医による全身麻酔管理のもとで安心・安全を最優先に治療しています。

造陰術では陰茎反転法または皮弁法を用います。陰茎形成術では前腕皮弁（腕の皮膚）もしくは前外側大腿皮弁（太ももの皮膚）を用いて陰茎形成を行います。それぞれの術式にメリット・デメリットがありますので詳細については受診していただき相談いただくのが良いかと思えます。

乳房切除術では可能な限り乳輪下半周切開を用いて傷跡の少ない手術を行ないます。乳頭縮小術を希望される際には術後3ヶ月以降に局所麻酔下に日帰り手術で行います。もちろん高度下垂症例等に用いる乳房切断術＋乳輪乳頭移植術にも対応しています。また、当院の特徴の一つとして、婦人科・形成外科が協力し、乳房切除術と腹腔鏡下子宮卵巣摘出術が同日に行なえることです。

スタッフ全員で、みなさまのQOL(quality of life)向上にお役に立てるよう努めて参ります。

婦人科

坂本 愛子（さかもと あいこ）

平成10年 東京女子医科大学卒
日本産科婦人科学会産科婦人科専門医・指導医
日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医（腹腔鏡・子宮鏡）
日本内視鏡外科学会技術認定医
日本産科婦人科内視鏡学会技術認定制度技術審査委員（腹腔鏡）
日本産科婦人科内視鏡学会評議員
医学博士
思春期保健相談士



子宮・卵巣の摘出について、婦人科 坂本は過去4年間では腹腔鏡下子宮全摘手術は約200例の経験があります。

コメント

GIDに対する身体的治療は、日本精神神経学会の判定基準があり正当な医療行為として認められています。しかし、どう対応していいかわからず子宮・卵巣摘出手術を引き受けられないでいる産婦人科医を以前から見聞きしていました。また近年では子宮筋腫などの良性疾患には腹腔鏡で手術をするのが一般化している一方で、GID(FTM)の場合、ほぼ正常な子宮・卵巣を摘出するのに多くが開腹手術で行われている現状に、以前からもどかしさを感じていました。そこで当院への入職を機に、腹腔鏡下子宮・卵巣摘出術の適応をGIDにも広げたいと思っていたところ、時を同じくして形成外科の櫻井透医師が入職され奇跡の出会いを感じました。中規模病院ならではの他科との連携手術のやりやすさを生かし、乳房切除を同日に行う事も可能となりました。以前別の病院にいた頃、海外で手術を受けたGID(MTF)の方に女性ホルモン剤を処方していたことがあり、彼女(MTF)がしばらくして男性との結婚を嬉しそうに報告してくれたのを今でも覚えています。多くのGIDの方に幸せな社会生活を送っていただきたい、と願っています。